

道徳だより

令和5年10月
七塚小学校
校長 稲垣 優子
6年生担当

今回は、6年生の授業の様子についてお伝えします。

主題名：ほんとうの友達

教材名：「ロレンゾの友達」

《ねらい》

3人それぞれの対応の在り方やそれぞれの考えについて足りない点を考えるなかで、よりよい友達関係を構築するためには、信じるのが大切であることに気づき、互いに信頼し、友情を深めようとする心情を育てる。

《あらすじ》

警察に追われているロレンゾから手紙が来ました。ロレンゾを逃がしてあげようというアンドレ。自首を進め本人が納得しなければ逃がしてあげたほうがいいというサバイユ。自首を進め納得したら一緒に付き添い納得しなければ警察に知らせたほうがいいというニコライ。それぞれに思いがあり3人は深く悩みます。



教師の問いかけ

あなたならどの考えに賛成ですか？どうしてそう考えますか？



↓タブレットで自分が3人のうちどの立場かを色で提示して発表しました。



- わたしはニコライと同じ考えです。どうしてかということ、大切な友達だからこそ、罪から逃げてほしくないからです。
- わたしはサバイユと同じ考えです。どうしてかということ、自首を進めるけど、ロレンゾの事情を知らないのに警察に連絡するのは違うと思うからです。
- わたしはアンドレと同じ考えです。どうしてかということ、友達に自首を進めるのは悲しいし、お金を渡して逃げてもらったほうが悲しくないからです。



今回はタブレットの色分けで自分の立場を明確にして共有することで、「自分と同じ色の人にはどんな理由かな？」「違う色の人にはどんな理由かな？」と進んで自分と友達の考えを比較し、共有することができました。

授業では「本当の友達」とはどんな友達かということを考えました。「本当のことを話せる友達」「信頼し合える友達」「本当のことを話せる友達」…そんな友達だからこそ、「だめなことはだめって言い合える友達」そんな友達関係を子供たちは求めているようです。これからもたくさんの出会いのなかで、そんな素敵な「本当の友達」を作っていけるといいですね。